

2023年5月2日

株式会社三菱UFJ銀行

Marunouchi Climate Tech Growth Fund L.P.の設立について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、三菱商事株式会社（代表取締役社長 なかにし かつや 中西 勝也、以下 三菱商事）およびプライベートエクイティファンドの管理・運営会社である韓国の Pavilion Private Equity Co., Ltd.（Chairman Young-Gak Yun）とともに、「Marunouchi Climate Tech Growth Fund L.P.」（以下 本ファンド）を設立いたしました。本ファンドは、丸の内イノベーションパートナーズ株式会社（代表取締役 CEO みやoshi いちろう 三好 一郎、以下 MIP）を無限責任組合員とし、気候テック^[1]関連のスタートアップを主な対象として成長投資を行います。

気候テックの分野では、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、様々な先端技術の開発やソリューションの普及が必要不可欠とされており、中長期的に高い資金需要が見込まれています。本ファンドは、気候テック関連のスタートアップへの成長投資を通じて、企業が有する先端技術の商業化や普及を図り、投資先企業の企業価値を高めるとともに、世界的な気候変動問題の解決を後押しすることを目指します。

当行は、お客さまの脱炭素化に向けた取り組みやイノベーション技術への支援に積極的に取り組んでまいりました。本ファンドを通じ、産業知見や事業ネットワークを有するメインスポンサーの三菱商事グループや本ファンドに参画する投資家とともに、優良な投資機会の獲得と投資先企業の成長支援を図ってまいります。

【本ファンドの概要】

名称	Marunouchi Climate Tech Growth Fund L.P.
設立時期	2023年4月
出資約束金総額 ^[2]	設立当初400百万米ドル、目標額800~1,000百万米ドル
無限責任組合員（GP）	丸の内イノベーションパートナーズ株式会社

【MIPの概要】

商号	丸の内イノベーションパートナーズ株式会社
代表者	代表取締役 CEO 三好一郎
運営ファンド	Marunouchi Climate Tech Growth Fund L.P.
資本金	1億5千万円
株主構成	三菱商事株式会社 90.1% Pavilion Private Equity Co., Ltd. 5.0% 株式会社三菱UFJ銀行 4.9%
主な事業内容	投資事業組合の管理・運用業務

[1] 別称 Climate Tech（クライメートテック）。気候変動問題へ対処する技術の総称

[2] 海外投資家向けの関連エンティティを含む